

社会福祉法人  
多摩同歩会  
事務局本部

〒183-0042  
東京都府中市武蔵台1-10-1  
☎042-367-8801  
☎042-367-8802  
honbu@tama-dhk.or.jp  
http://www.tama-dhk.or.jp/

児童福祉施設

高齢者福祉施設

神田事業所

あきる野市	きずな ☎042-596-0121 ☎042-596-0873 kizuna@tama-dhk.or.jp	●母子生活支援施設 網代ホームきずな
府中市	たっち 〒183-0023 東京都府中市宮町1-50 くるる3階 ☎042-354-8700 ☎042-352-2524 touch@tama-dhk.or.jp	●府中市子ども家庭支援センター たっち ●府中市 ファミリー・サポート・センター
府中市	しらとり 〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10-2 ☎042-367-8881 ☎042-367-8822 siratori@tama-dhk.or.jp	●子ども家庭支援センター しらとり
府中市	泉苑 〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10-4 ☎042-366-0080 ☎042-362-8460 izumi@tama-dhk.or.jp	●特別養護老人ホーム 信愛泉苑 ●高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター ●府中市地域包括支援センター 泉苑 ●泉苑 居宅介護支援センター
府中市	緑苑 〒183-0006 東京都府中市緑町1-39-3 ☎042-367-8080 ☎042-367-1012 midori@tama-dhk.or.jp	●養護老人ホーム 信愛寮 ●特別養護老人ホーム 信愛緑苑 ●府中市地域包括支援センター 緑苑
府中市	あさひ苑 (府中市指定管理者) 〒183-0003 東京都府中市朝日町3-17-1 ☎042-369-0080 ☎042-365-4683 asahi@tama-dhk.or.jp	●府中市立特別養護老人ホーム あさひ苑 ●府中市立あさひ苑 高齢者在宅サービスセンター ●府中市地域包括支援センター あさひ苑 ●府中市あさひ苑 居宅介護支援事業所 ●あさひ苑 ホームヘルプサービス
府中市	うらら多磨 〒183-0002 東京都府中市多磨町2-56-2	●府中市高齢者住宅 うらら多磨
神田事業所	かんだ連雀 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-8-1 ☎03-3252-8815 ☎03-3252-8816 renjaku@tama-dhk.or.jp	●特別養護老人ホーム かんだ連雀 ●高齢者あんしんセンター神田(地域包括支援センター) ●神田居宅介護支援センター ●かんだ連雀 高齢者在宅サービスセンター ●かんだ連雀 ホームヘルプサービス
神田事業所	岩本町ほほえみプラザ (高齢者複合施設) (千代田区指定管理者) 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-15-3 ☎03-5825-3407 ☎03-5825-3408 iwamoto@tama-dhk.or.jp	●千代田区立 岩本町高齢者在宅サービスセンター ●千代田区立 ケアハウスいわもと ●千代田区立 グループホームいわもと ●区民施設 多目的ホール、今川記念室

私たちは  
家族を支援します

# しらとり

●子ども家庭支援センター しらとり

## しらとり

### 京王線「府中駅」下車

- 京王バス(約15分) ④番バス乗り場  
国02「東芝前経由国立駅」行き  
国03「東芝前・総合医療センター経由国立駅」行き  
府21「東芝前経由総合医療センター」行き  
それぞれ「栄町3丁目」下車 徒歩5分
- ちゅうバス北山町循環(約30分)  
「武蔵台文化センター西」下車 徒歩10分

### JR中央線「国立駅」下車

- 京王バス(約15分)  
国02「東芝前経由府中駅」行き  
「栄町3丁目」下車 徒歩5分

### JR武蔵野線「西国分寺駅」下車

- 徒歩(約20分)

### JR武蔵野線「北府中駅」下車

- 徒歩(約15分)

### 車の場合

- 東八道路上り車線より進入可







# しらとりは 子育て家庭を応援します。

母と子のために、  
自信を持って自立できるような住環境を整備した「白鳥寮」。  
「白鳥寮」を退所後は、「しらとり」が地域で生活する  
母と子のために必要な支援を提供します。  
また、地域の子育て家庭のために、  
相談事業を始め、仲間づくりの場、  
トワイライトステイやショートステイなどの各種サービス、  
情報の提供を行っています。



昭和28年度に母子生活支援施設白鳥寮を開設し、平成8年からは府中市の委託を受けて、子ども家庭支援センターしらとりを併設しました。現在、しらとり（総称）は、母子家庭や地域の子育て家庭をトータルに支援しています。

しらとりでは、法人の草創期の「母と子のきずなを断ち切ることなく」を第一の目標に、母子生活支援施設（白鳥寮）としての役割と機能を果たすべく、利用される母と子にとって安全で安心できる環境を用意し、児童の健全育成をはじめ母と

## 多摩同胞会としらとりのあゆみ

- 昭和21年度 終戦直後、路頭に迷う母子の救済のため、西多摩郡五日市町（現あきる野市）に網代母子寮を開設。入寮者42名。
- 昭和28年度 網代母子寮の入寮者が増加したため、母子の新たな住居と母親の就労の場を求めて、府中市に姉妹寮として白鳥寮を開設。定員200名。
- 昭和40年度 網代母子寮・白鳥寮、ともに児童福祉法による母子寮に種別変更。
- 昭和42年度 白鳥寮全面改築（鉄筋コンクリート造り個室整備）、A棟4階建て、B棟3階建て、C棟平屋建て。定員40世帯120名。
- 昭和51年度 白鳥寮B棟増築（中央競馬福祉財団助成金）、喫茶室を常設。
- 昭和52年度 白鳥寮のA棟・C棟を養護老人ホーム信愛寮に用途変更。白鳥寮の規模変更認可。定員20世帯60名。
- 昭和58年度 白鳥寮、職員の完全宿直制を開始。
- 平成7年度 白鳥寮新築工事竣工、定員20世帯60名。子ども家庭支援センター「しらとり」を新設、事業開始。
- 平成13年度 ファミリーサポート事業を開始。
- 平成14年度 病後児保育事業を開始。
- 平成16年度 ファミリーサポート事業を「たっち」に移管。
- 平成21年度 病後児保育事業を終了。
- 平成23年度 子ども家庭支援センター事業の内容変更（地域子育て支援拠点事業子育てひろばB型等）。

子の早期自立を目指し支援します。また、地域の子育て支援として24時間の相談事業を実施し、子育て家庭に必要なサービスを提供できるように考えています。

平成23年度から「子育てひろば」を開設しました。親子で遊ぶ場、地域の子育て家庭の交流の場としていきます。

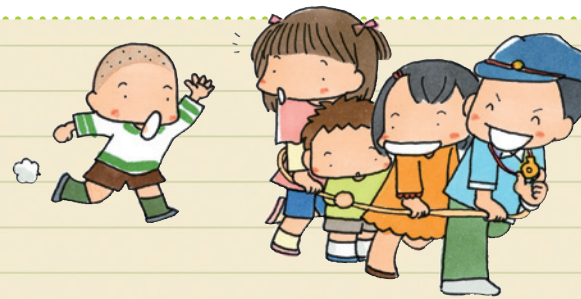
これからも「私たちは家族を支援します」という法人理念のもと、最も支援を必要としている方々を第一に考え、施設運営を行っていきます。





## 多彩なサービスで、子育て家庭をまるごとサポートします。

「しらとり」には「子ども家庭支援センター しらとり」のほか、「母子生活支援施設 白鳥寮」を併設しています。



**Q** 子育てって分からないことがいっぱい。誰に相談すればいいのかなあ…。



**A** **相談事業**

子育てや家庭に関する悩み事、子どもと家庭に関するあらゆる相談にしらとりひろばで応じます。相談内容によっては、各種事業・専門機関をご紹介します。

受付は、ひろば開所時間。緊急時には、20時～翌9時に受け付けます(年末年始を除く)。



**Q** 同じように子育てしている人と知り合いたいけれど、どこに行けばいいの…。



**A** **子育てひろば事業**

子育て家庭を支援するために、乳幼児の親子が遊べる常設のひろば事業を行っています。

対象：乳幼児を連れてきた親子  
開所：月～土曜日の10時～16時(年末年始・祭日などを除く)



**Q** いつも残業続きで、保育所が終わる時間には子どもを迎えに行けない。困ったなあ…



**A** **トワイライトステイ事業**

残業などで保護者の帰宅が遅い家庭のお子さんを、夕方からお預かりし、食事などの援助をします。

対象：府中市在住の2歳児～小学6年生以下の児童  
時間：17時～22時  
期間：6か月ごとの更新



**Q** 困ったときに、一時的に子どもを預かってもらえる所ってあるかなあ…。



**A** **ショートステイ事業**

病気・出張・出産などの理由で、家庭での子どもの養育が一時的に困難なときにお子さんを短期間お預かりし、食事・通園・通学などの援助をします。

対象：府中市在住の2歳児～18歳未満の児童  
期間：7日以内



**Q** 困ったときに、一時的に避難できる施設があるみたい…。



**A** **母子(父子)緊急一時保護事業**

家庭内のトラブルなどで、親子を緊急に保護する必要が生じたとき、一時的に滞在できるよう生活の場を提供し、必要な支援をします。

対象：府中市在住で、18歳未満の子を養育する母子または父子  
期間：15日以内



### 子ども家庭支援センター しらとり

「しらとり」が、すべての事業の相談窓口となります。子育て家庭をまるごとサポートする具体的な支援をこれからも創造し続けます。子育てにちょっと困ったとき、子育てをもっと楽しみたいときなど、いつでもお気軽にお問い合わせください。TEL 042-367-8881



子育てのちょっとした相談って、誰に聞いたらいいのかわからないから助かる…。

### 母子の自立援助事業 白鳥寮

「しらとり」内の母子生活支援施設「白鳥寮」では、中・長期的な視点に立って、基本的な日常生活と子育て支援、母子の就労支援から退所後のアフターケアまで、トータルに母子の自立を援助します。



お母さんと一緒に自立に向けての計画を立て、具体的に生活を支援してくれるのが白鳥寮なんだ…。





しらとりで利用者の声

オープンルームは、いつも楽しみ

地域の子育て支援を目的とした「オープンルーム」は、毎月2回開催しています。「はじめはドキドキしたけれど、子どもが生き生きと始めて、子どもが子どもの集団に入る大切さに気づきました」と話すのは、Nさん。親が心配するまでもなく、初めて会う子ども同士でも、自然と一緒に遊ぶようです。

「遊ぼう」「つくろう」「青空」の3テーマに分かれる「オープンルーム」。「遊ぼう」は、しらとり内で手遊びなどをして遊びます。「つくろう」は、季節に合わせていろんなものを作ります。「青空」は、



近くの公園で遊びます。「今日は何かなあと、いつも楽しみにしています。「遊ぼう」も「つくろう」も「青空」も、季節に合ったお楽しみがあるのが良いと思います」と話すのは、Mさん。Hさんは、「特に「つくろう」は、子どもたちがとても楽しみにしています。できた作品は記念になるので、ずっと保存しておいて、子どもが大きくなったら渡すつもりです」と話します。平成8年から始まった「オープンルーム」事業は、今も多くの皆さんに親しまれています。

しらとりスタッフの声

安心して家庭的に過ごせる雰囲気を

「しらとりを2歳の時から定期的に利用していた年中の子どもから、「初めてしらとりに来たとき、いっちゃんと話をしたんだよね、覚えている？はじめは私も緊張したけど」とその際の気持ちを思い出しながら笑顔で話してくれたときは、なんとも言えない喜びでした」と話すのはトワイライトステイ担当のIさん。トワイライト利用児の利用回数や保護者のお迎え時間などはまちまちですが、一人一人の年齢や生活環境に合わせて安心して家庭的に過ごせるよう支援しています。「これからも子どもに寄り

添いながら子ども家庭の応援を続けていきたい」とIさんは話します。

「初めての子育てには、喜びと驚きと共に、不安や悩みがつきものです」と話すのは、しらとりひろば担当のSさん。子どもと親に遊びと交流の場を提供しているしらとりひろばに、初めて足を運ばれたときは、皆さん緊張されているようです。「でも、次第に親同士・子ども同士のつながりができてくるのですよ」とSさん。「しらとりひろばって、誰かの家みたい」「アットホームな雰囲気が好き」と言っていたことが大きな励みです」と笑顔です。



法人の基本指針

私たち職員は、法人創設者中城イマ前理事長の4つの信念を基本的な指針とします。

- 1 利用者に深い共感をもつ
  - いたみを分かちあう共感
  - 相手の立場に立つ共感
- 2 地域の方々に感謝する
  - 他者への感謝
  - 我以外みな我が師
  - 内部にあっては職員相互あるいはご利用者への「ありがとう」の気持ち
- 3 水、電気などの資源を大切にす
  - 自然を大切に
  - 環境を汚さない
  - 自然の恵み、資源を未来につなげる
- 4 常に防災を心がけ火を出さない
  - 安心安全を常に心がける
  - 安全を脅かさない

